

# 関東支部の更なる活性化に向けて



## 望 月 直 樹

関東支部は、首都圏を含む1都8県で構成されている学会最大の支部です。学会本部が東京にあるため、関東支部の活動が会員の皆様には判りにくいところがあるかも知れませんが、関東支部は分析講習会や地区交流会を積極的に企画し、地域と密着した分析化学の普及や啓蒙活動を推進しています。

分析講習会として、機器分析講習会4コースと、基礎分析講習会2コースを開催しています。本講習会の目的は、分析化学技術者を育成することであり、受講生の多くは企業会員です。現在企業の分析現場では、分析技能を熟知する年配の技術者の退職によって、教育や技能伝承が行き届かなくなるという課題が浮上しています。更に、分析機器の性能が急速に進歩したことで、原理を十分理解しなくても操作が可能になり、分析機器がブラックボックス化してきました。このような流れを背景として、今日では分析講習会へのニーズが高まっており、ほとんどの講座は満員と盛況です。機器分析講習会は、分析機器の原理や操作の基礎を学びたい方や、操作における弱点を補強したい方に向けて開催されるものであり、ベテラン技術者がインストラクターとなって講義と実習を行うことで、化学分析の基本から習得することができます。さらに分析講習会終了後の情報交換会では、専門分野の枠を超えた一体感が形成されており、若手技術者の重要な交流の場となっています。

分析講習会の運営は企業の協力で成立していますが、昨今の企業経営を取り巻く環境は厳しく、学会活動への積極的な投資を控える企業が多くなっています。このため現状では、企業に所属する個人会員の皆様による学会への献身的な貢献が大きな支えとなっています。関東支部会員は現在、半数以上が企業会員ですが、その数は減少傾向にあります。こうした現状を改善するには、企業会員の皆様が活躍する機会を更に増やしていくことが、重要であると考えます。

関東支部は分析の実務講習会の開催以外に、各県での地区活動を推進しています。こうした地区活動は、会員の皆様が学会を最も身近に感じられる支部行事です。特に新潟地区、茨城地区、千葉地区では、伝統的に産官学の連携の絆が強く、交流会が活発に開催されています。本年度は新たに神奈川県と群馬地区で、交流会が開催されました。各県の特色を生かした地区交流会の活性化は、支部の活力の源であり、学会全体の発展に繋がる重要な活動であると考えます。

昨年度から関東支部は、支部活動を会員の皆様に判りやすく伝える目的で、ホームページのデザインを一新しました。分析講習会や地区活動が好調な理由は、こうしたホームページのリニューアルが一因に挙げられると思います。ホームページは支部の顔であり、これを通して会員の皆様に、関東支部の活動を広く認知していただければと考えています。

これからも支部をはじめに学会の活動が、会員の皆様にとって魅力的で、継続的に発展されることを祈念しております。本年9月には、関東支部の千葉大学西千葉キャンパスで、第68年度年会が開催されます。会員の皆様の積極的な御参加と御協力を心からお願いいたします。

[Naoki MOCHIZUKI, 横浜薬科大学薬学部, 日本分析化学会関東支部長]